

「自分の免疫で病気を治す」 匿名希望 53歳

2016年7月2日

初めてリウマチの診断を受けたのは2014年7月でした。ただ漠然と治らない病気だと思っていたので、これから先寝たきりになるのだろうかと心配で人生終わったなあ～と落ち込みました。前年の秋に妙に体調が悪く、手首や指が痛くペンも持てない、包丁も持てない、トイレにも困りました。それでも2日もすれば治るのでその時は、深刻に考えていませんでした。そして2014年3月、また痛みが襲い、今度は痛みで眠れませんでした。でも、また2日程で痛みはひくので、また放置。暫くして、「でもこれって、もしかしてリウマチか？」と何故か頭をよぎり近くの整形外科へ。検査の結果「数値が高いから、おそらくリウマチかな～」と言われました。なんの説明もなく、訳のわからないまま言われた通りに薬を飲みました。なんとなくステロイドは体に入れたらダメと思っていたので、1ヶ月程して薬剤師さんに聞くと「これもステロイドの一つだ」と言われ、「病気治しに来たのに、ステロイドなんか飲まされて病気になって、たまるか！」と、それきり病院にも行かず、薬も飲まず放っておきました。

そしてネットで「リウマチ 漢方」で検索したら松本医院が見つかり、すぐ受診しました。待合室にはたくさんのお患者さん、そして漢方薬と何とも言い難いお灸の落ち着いたいい匂いがしました。既に治ったような気になりました。そして診察室へ。ウワサの先生がいらっしゃいました(笑)「病気は誰が治すの？」と聞かれ「私の免疫です。」と答えると「そうや！」と。私が何故この松本医院を受診したかという、先生のコラムなどを読ませて頂き「自分の免疫が病気を治す」という言葉に「その通りだな」と思ったからです。免疫を上げなければならぬのに、免疫を抑制するステロイドや薬を飲んでいるなんて……。私は昔から頭痛がひどく、毎日のように、鎮痛剤を飲んでいたので、よく考えると「自分で自分の免疫を下げ、こんなことになったのかな？」と思います。でも松本先生に処方してもらった漢方薬を飲みだしてから嘘のように、頭痛がなくなり鎮痛剤を飲むことがなくなりました。これからは体を温め、免疫が上がるように食事にも気をつけたいと思います。そして国はもっと漢方や東洋医学にも目を向けるべきだと思います。抗ウイルス剤は自費なので患者はかなりの負担になります。安価で保険もきくようにするべきだと思います。なぜ免疫を下げ病気になるような薬に保険がきき、免疫を上げる薬に保険がきかないのか不思議に思います。早く改善されるよう願います。松本先生、まだもう少し時間がかかるとは思いますが今後もよろしく願いいたします。大変手記が遅くなりすみませんでした。